

こころ

子は親の鏡

配布及び教室掲示では、ドロシー・ロー・ノルト／レイチャル・ハリス：著 石井千春：訳『子どもが育つ魔法の言葉』（PHP）から、「子は親の鏡」という詩の全文を引用しました。

ホームページ上での公開はできませんので、詩の全文は掲載しませんが、子育ての姿勢について、多くの示唆を与えてくれるものです。

この書籍は、詩のそれぞれの行について、関連するお話や解説、作者の見解が述べられています。カウンセリングルームにもこの書籍を置いてありますので、どんな本だろうと手に取ってみたいと思われた方は、お子さんを通じてお申し出ください。

配布版及び教室掲示用の「こころ」には、詩の全文を引用した後に、次のような文章を掲載しております。

この詩にあるように、子がどのように成長するかの大きな鍵を、身近な大人が握っています。

意識して子どもをダメにする親はいませんが、我が子に「決めつける。馬鹿にする。けなす。」といったことがあれば、子どもをダメにしていきます。

親がネガティブな接し方や考え方で生活していると、子どもは幸福にはならない。逆にポジティブな接し方、生き方をしていれば、子どもはすくすくと育つ。

「親」をカウンセラーや教員と読み替えてもこの詩はそっくり通用します。

「この世の中はいいところだと思えるようになる」という最終行にいきつく一助にカウンセリングが寄与できればと思います。生徒の皆さん、ちょっとした悩みでも何でも、是非相談してください。また、保護者の皆様も相談がありましたら、ご連絡ください。

